

いやあ、駄文が止まりません。こんにちは。

まさかド口ボウが記載されるとは思いませんでした。会長に感謝ですね。そして、また恥ずかしげもなく書いております。なぜだか、くだらない企画が思いつくものです。今回は世界中から集められたお悩み相談に答えていこうと思います。どうぞよろしく。

~~~~~  
お悩み No.1

家族から「臭い」と言われています。職業柄、体を使うのでどうしても汗をかくのですが夏場は特に汗をかきます。汗が匂うようです。熱中症対策として最近では空調服を使い体温を下げて仕事するようにしております。どうしても空調服の仕様上、体臭がまき散らされるため、家庭で使うのはテロ行為に認定されてしまいました。家族には、立てば体臭、座れば屁臭、歩く姿はバキュームカーなどとバカにされる始末です。これでは家に居場所がありません。これまでは男として黙って耐えておりましたが、もはや勘弁なりません。家族にギャフンと言わせる事はできないでしょうか。(スメリー・42歳・男性)

お答え。

こんにちはスメリーさん。そうですか、臭いですか。フム、ギャフンと言わせるですか。おそらくですが、いや、間違いなくご家族の方はギャフンと言っていると思われませんか。言っているからこそ向こうも我慢できないのじゃないかなあ。ならば解決している気もしていますが、なんとか家庭に折り合いをつける事を考えてみましょうねえ。匂いなんて慣れなんですよ、要は慣れてもらえれば問題がなくなるのですよ。つまり、事あるごとに匂いを嗅がすのです。テロ行為だろうがなんだろうが批判に負けてはいけません。洗濯物は廊下に脱ぎ散らし、人の布団で昼寝をし、トイレの時はドアを開けておく。これぐらいやらないと敵には勝てません。いいですか、もはや戦いです。生きていれば誰しも匂いがあるものです。にもかかわらず臭いと非難する事はスメリーさんの生存権が脅かされているということなのです。間違っているのはあなたではありません、社会が間違っているのです！聞けば国際宇宙ステーションの中は部活動の部室の匂いがするそうです。部室の匂いを嗅いだことがありますか？残念ながら控えめに言っても臭すぎます。もちろん換気もできないので24時間匂いっぱなしです。これはどういうことかと言うと、全世界の

エリート中のエリートが集まる国際宇宙ステーションの中はスメリーさんのお家と同じなのです。つまりスメリーさんはエリートなのです。どうでしょう、そろそろ自信を取り戻したのではないのでしょうか。居場所というものは自分で作り出さなければなりません。ご家族に負けずに頑張ってください。最後にエールを送ります。「スメリー、体臭に立つ！」ありがとうございました。

-----

## お悩み No.2

加齢に伴い頭部が涼しくなってきました。若い頃と比べて明らかに薄くなってしまっておりま  
す。ごまかすために短髪以外の髪型には出来なくなりました。少々周りの人の視線が痛い。ウチ  
の者にはハゲパパもしくはハゲと呼ばれています。もはやパパが抜け落ちハゲとしか呼ばれなく  
なりつつあります。そういえば薄髪の家系でした、ああ呪いたいこのDNA。当たり前のようにあ  
ったものがなくなってしまうのは抜け毛とともに自信を失っていくかのようです。どうすれば昔  
のようにフサフサになれるのでしょうか。(不毛地帯・42歳・男性)

## お答え。

はい、こんにちは不毛地帯さん。薄毛の問題ですね。最近は医療の力で解決出来ることもあるよ  
うです。あとは帽子で隠したり、カツラを被ったりでしょうか。ググればいくらでも選択肢はあ  
りそうですね。ですが、あなたはそのような答えを求めてはいないでしょう。なぜなら、不毛地  
帯などとペンネームを入れるあたり、自分でもハゲを認めているからに他なりません。その自分  
を受け入れる姿勢はハゲハゲしい、もといスガスガしいです。不毛地帯さんは、むしろハゲを認  
めていないウチの者がおかしい、そう感じているに違いありません。その考え、間違いでは無い  
ですよ。早速打開策を授けましょう。まずウチの者に対してですが。パパがなくなりつつあるの  
なら不毛地帯さんもパパを捨てれば良いのです。何か言われても指を咥えて駄々をこねまくりま  
しょう。オツパイネンネーと言っても構いません。とにかく父親業を放棄してください。そうな  
るとウチの者たちはきっと怒って聞いてきます、どうしてそんな事するのか？と。ここでは次よ  
うに答えてください。なぜならば、赤ちゃんはハゲているから、ハゲと呼ばれたパパは赤ちゃん  
と同じ、だと。ここでようやく彼らは気づくでしょう。コイツヤベ工と。いいですか、理不尽な  
扱いをしてくる人にはそれ以上にヤバイ奴である事を見せつけなければなりません。いい大人が  
なりふり構わず赤ちゃんをやるとここで周りの人から呆れられる、しかしそうする事で自分でどう  
にかしようと考え始めるのです。父親失格のレッテルは貼り付けた者を成長させます。恥ずかし  
がってはいけません、不毛地帯さんはハゲダメパパベイビーである自覚を持ちましょう。次は周  
りの視線ですね、どうして皆が不毛地帯さんを見ているかわかりますか？それはあなたが光り輝

いているからです。なにもハゲだから見ているのではないのです。何も見えない暗闇で灯りがあれば迷わずそちらに行くように、あなたは皆を引きつけ導く能力が備わっておるのです。かの赤い彗星も申しておりました、ハゲエ私を導いてくれと。こう考えると視線を感じたとしても余裕が生まれるはずです。見てくる者にはエンペラースマイルでよしなに手でも振りましょう。ここまでくればフサフサになってきたでしょう。頭ではありません、そうです、心臓ですね。恥ずかしいの語源はハゲ隠しいです、もう心のカツラを取ってよいのです。恥から解放されたあなたは皆のスターになる事でしょう。不毛地帯さんのご活躍を期待しております。

-----

### お悩み No.3

自分は幼いころより人見知りであり友達作りが上手ではありません。学生時代は同年代のクラスに放り込まれていたのが何とか友人関係があったように思えます。ただ大人になってからは学生当時の友人関係は消えてしまい、職場の人間関係のみになってしまいました。さすがに同僚たちとは年齢差があり同じように遊ぶのが難しく、友人関係になれません。このまま家と職場の往復では寂しい老後しか見えなく不安です。寂しすぎて最近キッチンで見つけた大きなクモを友達として扱うようになってしまいました。何も言わず邪魔をせず悪さもしない、ややキモイのは自分と同じで親近感がわきます。自分はこのクモを「クモ子ちゃん」と名付けました。時折話しかけると、とても安らぎを感じ人には言えない事もしやべってしまいます。彼女はとても聞き上手なのです。いつも毎日キッチンで彼女を探しては語りかけていました。でも。ある朝コーヒを飲もうとお湯を沸かしていました。お湯が余ったのでシンクに流そうとした時です。熱湯を流せば冷えたシンクからもくもくと湯気が立ち上ります。壁面にはクモ子ちゃんがいるのに、そんな事も考えずにテキトーな事をしてしまった。湯気に驚いたクモ子ちゃんは熱湯のシンクに足を滑らせ滑落しました。一瞬でした、湯気が晴れると仰向けでいつもは開いている8本の足が縮こまって動かなくなったクモ子ちゃんがそこにいました。ぐおおおんクモ子ちゃあああんどおおしてえええ、どおおすりゃあいいんだああよおお、燃えるゴミかなああうわああああ。(ポッチポッチリ・42歳・男性)

お答え。

少し悲しくなる相談ですね。とりあえずは埋葬するのがよいと思います。動揺しているとは思いますが友達を燃えるゴミ扱いはできるのはかなり上級な友人付き合いができる方だけです。私事ですが先日古い友人にバツタリ出えました。お互いの近況を話した後で彼はこう言いました。友「俺の人生なんかどうしようもないクソみたいなもんよ」。彼は結婚して3人のパパをやっています。私は大したもんだと思っていたのに自分ではクソな人生という。彼がクソなら私の人生

もクソじゃないか。だから私も「俺もクソみたいなもんよ、かわらんわ」と言いました。そうすると、フツと気が楽になりました。不思議なもんです、自分を卑下した人を慰めるのではなく同調したらこちらが楽になるのです。私は気がつきました、様々な肩書や立場があってもすべてクソにしてしまえばとてつもなく自由だと。男だから、父親だから、兄だから、いい歳だから、上司だから、社長だから、立場があるから、いい人なのに、友達だから、こんなもんはすべてクソに置き換えてしまった方が楽に生きられるのだと。ポッチポッチリさんは友達がいないとおっしゃいますが仮に友達が出来たとしても、結局クソ立場が増えるだけにはなりませんか？友達付き合いをする自分を作らないといけなくはなりませんか？友人が沢山いる社交性のある人を社会が求めてきているのに気づかない訳ではないでしょう。一度その要請を受けてしまうと、次から次に、仕事を任せられる頼もしい人とか、子煩悩で優しいパパだとか、立派な社会人を押し付けてきやがるのがこの社会です。今、ポッチポッチリさんはかなり自由な状態だと思います。くだらない社会的要請から離れ気に入ったクモと楽しい時間を過ごせています。くたばりはしましたが、ポッチポッチリさんは目の付け所が違います。自分のキモさにも自覚があるところもポイントが高いです。どうでしょう、あなたの素晴らしセンスを生かしファールのようにポッチ昆虫記を書いてみるのは。ポッチポッチリさん独自の着眼点で虫との対話は底知れぬ奥深さがあるに違いありません。少なくとも私は読みたい。そろそろ友人が欲しいとも思わなくなってきたでしょう。おそらくポッチ昆虫記がスムーズに世に送り出せば、良い評価を得られ、周りの人が友達になって欲しいと思うことでしょう。さあ、燃えるゴミを出したら早速取りかかってください。よろしくお願ひします。

-----

#### お悩み No.4

何をするにも先立つものがが必要です。しかし、私はお金がなくても幸せを感じられればそれでいいと思っていました。冬の朝の深呼吸は胸を冷え込ませても布団の中で握る手が確かな温もりを感じさせる。眩む暑さで嫌になる真夏でも涼しげな麦わら帽子の向日葵の笑顔に癒される。小さな幸せの積み重ねが人生を形作るのだと、そう考えていました。初めのうちはそう確信していたのですが、お金がなくても、幸せならと。

でも残念ながらそれでは妻は許してくれないのです。昔は幸せならそれでいいと言ってくれていたのに、どうしてこうなったのか。事あるごとにプレッシャーを感じる事が多くなってきました。

妻「あ、BMWだ、いいなあ、乗り心地いいんだろうなあ、乗ってみたいなあ」

妻「アパートも飽きちゃったなあ、どっか一軒家とか建てないのかなあ、なんでだろうなあ」

妻「ちょっとあんたの稼ぎ少ないんじゃない？もっと稼いだら？男でしょ？」

いくら稼いでもお金が足りている気がしません。稼げば稼ぐほど次のハードルを用意してきて永遠に終わらない競争をしている気がします。ほとんど疲れ果てています。どうにかして妻が満足するほどお金を手に入れなければなりません。何か方法はないでしょうか。(ノーマネーでフィニッシュです・男性・42歳)

お答え。

りっこっん りっこっん さっさと りっこっん。ああ、つい結論が吹き出してしまいました。勢い余ってミヨコが出てきてしまいました。ノーマネーさん(長いので略)は健気な方ですね。いまだに妻という生き物を信じておられる。残念ですが、もはや、あの可愛かった彼女はそこにはいません。彼女は結婚生活という長くも短い年月の末、新しい生き物へと進化したのです。そう進化せざるを得ない事情があったのでしょうか。頼りない夫、めんどろで意地悪な義実家、マウントしてくる友達、無理解な親兄弟。ああ、悲しい現実たち。誰かが彼女の助けになっていれば。。。でも、でも、もう手遅れなのです。手の施しようがないのです。ノーマネーさんは私がここまで言っても聞いてはくれないでしょう。体の隅々までしっかりと毒が回っているのがよく分かります。ここまでひどい状態になりながらまだ妻に尽くそうとしておられる。世の哀しみを背負った夫たちから見れば涙無しには語れない、苦しい苦しいお話です。難しいかもしれませんがノーマネーさんに提案があります。試しに次のように妻に伝えてください。精一杯暗い顔で申し訳なさそうに、ノーマネー「実は借金があるんだ、大体1億ぐらい。」と。金額は返済できるか微妙なラインが良いです。もし、これで妻が離婚を切り出してくるならば、乗りましょう。しかし、まず無いことですが100%無いですが、協力して返そうと言ってきた場合、わずかに残ったあの頃の彼女が戻ってきます。これにも乗りましょう。もしノーマネーさんがリスクを楽しみたいならば、私が死んだら死亡保険金が2億入ってくる、とか言ってみるのも良いかもしれません。オススメはしません。金の切れ目が縁の切れ目とよく言われますが、求める関係性は金が切れても縁は切れない関係です。まだノーマネーさんは若い、チャンスはあります。次にいけます。正直、離れることが彼女が変われるキッカケになるでしょう。フィニッシュにはもったいない。どうか今の関係性を見直し明日の新聞に載らないような関係を模索して下さい。健闘を祈ります。

-----  
お悩み No.5

ラリホーラリホーラリラリホー。今日も元気だ飯がうまい。スイツと背伸びして体の動きを確かめたらお外に行こう。晴れてたら気分は上々、雨ならご機嫌、曇りなら両方半分こ。さあてなんだっけ、仕事だっけか、車に乗ろう。職場はとってもいい空気、スムーズすぎる、捗りすぎる、楽しすぎるでお昼ご飯。今日の卵焼きは馬鹿みたいにうまい。午後からは何するんだっけか、そ

うだ仕事だ。ややや、トラブル発生、どうしたもんかどうしたもんか、そんな時は内なる声を聞けばいいんだ。どっちにするかすぐにわかるぞ。カンタンカンタンはい決定。うまく行ったぞ、そろそろ晩だな、かえーろかえろお家に帰ろ。よーし今日は肉でも食うか、ほほほ旨し旨し。腹一杯だ、風呂行くぞー。1日の疲れを流そう、と思っただけで全然疲れてねえ。まあいいか。寝よう寝よう。ああーお布団気持ちいい、サイコー。。。あれ、何も考えてないわ、ほとんど夢心地だわ、でもなんも考えんでいいんかねどうなんやろうかね。まあ、ええかー。(直感系男子・42歳・男性)

お答え。

いや、まあ、悩みがないのが悩みといった所でしょうか。特に言うこともないのです。言う必要もないでしょう。だから聞きたい、将来の不安とかないのですか？人間関係で落ち込む事もないのでしょうか？人生の選択を迷うことは？問題は全くない？でもまあ正直言ってホントにあなたには何も悩みはないのでしょうか。このコーナーはお悩み相談室なのに、私は直感系男子さんに対して全く役立たずではないですか。そもそもなんで相談してきたのか。なんか考えてお答えしようとしているのがバカらしく感じてきましたよ。

あ。。。なるほど、そういう事ですか。人の悩み相談を受けるなんて事は、結局は相手の悩みを人事のように上から目線にくっちゃべり楽しむことができちゃう。そこには他者に対する敬意を欠いた愚かな人間がいる。つまり私に対する批判という事ですかね？はたまた、自分の人生のダイナミズムを一部分であっても無責任に放棄する相談者に対する批判にも思えます。考えてすぎかもしれませんが、どちらの批判も正しいと思います。考えない愚者を演じながらメタ的に批判を織り込むなんてさすが直感系男子さんです。私のようなバカ者がくだらなく考えた所でバカであるのは変わりません。ああ、どうせバカなら直感系男子さんのようになりたいものです。でもでも楽しーから止められないのーひょっひょっーバカらしい事やめらんないのーいらんことしなのーどうでもいいからやっちゃうのー。

~~~~~

長くなりましたが今回はおしまいです。このコーナーでは皆様からのお悩みを絶賛募集しておりません。そろそろお風呂に入らないと消される可能性がありますので、またいずれ。